

「佐世保市総合計画」を策定しています

～市民会議から提言書が、また審議会から基本構想案の中間答申が出されました～

総合計画とは、皆さんの住みたいまちを実現するためのまちづくりの教科書のようなものです。本市は現在、平成20年度から29年度までのまちづくりに向けて、新しい総合計画を作っています。

本市では、“市民とともに創りあげる計画”という考え方を掲げ、約70人の公募市民で構成された「佐世保市総合計画を考える市民会議」とまちづくりの各分野の専門家で組織する「佐世保市総合計画審議会」の2つの外部検討組織を設けています。

12月5日、まちづくりについての意見やアイデアなど話し合いの成果をまとめた提言書が市民会議から市長へ提出されました。また、この提言を踏まえて、審議会では基本構想案の中間答申がとりまとめられ、その中間答申書が12月27日に市長に手渡されました。

市民会議からの提言と審議会からの中間答申を受けて、本市の基本構想（中間素案）としてとりまとめた主な内容は以下のとおりです。



市民会議から光武市長へ提言書が提出されました



審議会から光武市長へ中間答申書が手渡されました

まちづくりの基本目標

健康で安心して暮らせる福祉のまち

- ライフステージに応じた健康づくりを進める
- 地域で完結する安心・信頼の医療を確保する
- さまざまな担い手のネットワークによる地域福祉を進める

安全な生活を守るまち

- 災害に強いまちづくりを進める
- 日常生活で起こり得る犯罪や事故などを未然に防ぐ
- 健康を守る安全な環境づくりを進める

心豊かな人を育むまち

- みんなで子どもと子育てを支える環境をつくる
- 家庭・学校・地域が連携した教育を進める
- 気軽に生涯学習・スポーツに取り組める環境をつくる
- 人権が尊重される社会をつくる

あふれる魅力を創出し体感できるまち

- 地域資源を活用した観光を進める
- 創造し交流する文化・芸術のまちを育む
- 美しく魅力的な景観を保全・創出する

雇用を生み出す力強い産業のまち

- 創造と連携により地域産業を活性化
- 地域に根ざした新たな産業・事業をつくり出す
- 働きがいのある安定した雇用環境をつくる

人と自然が共生するまち

- 人と自然が共生できる環境を守り、将来の世代へ継承する
- 資源を生かし循環するまちをつくる
- 身近な水環境を保全する

快適な生活と交流を支えるまち

- 機能的で活気のある中心市街地をつくる
- 地域特性を生かした快適な住環境をつくる
- 安全で快適な移動を支える地域交通ネットワークをつくる
- 活力と優しさあふれる“みなと”をつくる

将来像

ひと・まち育む
キラッと佐世保

自然とともに
市民の元気で
輝くまち

第6次佐世保市総合計画（基本構想）の中間素案へのご意見を募集しています

- 対象 市内に在住・在学・通勤している人
応募方法 ご意見を400字程度にまとめ、住所、氏名（匿名は無効）を書いて市役所企画調整課へお送りください（様式自由）。
- 郵送 〒857-8585（住所不要）
 - ファクス 0956-25-9676
 - Eメール kikaku@city.sasebo.lg.jp

- 計画の閲覧場所 市役所企画調整課、各支所、各行政センター、各地区公民館、市立図書館、させぼ市民活動交流プラザ、市役所・行政資料閲覧コーナー、市ホームページ
- 締め切り 2月20日（火）必着
お尋ね 市役所企画調整課（☎0956-24-1111）

佐世保市市民栄誉賞の受賞 おめでとうございます

「佐世保市市民栄誉賞」の表彰式が1月11日に市役所で行われ、受賞者の井上博明さん（九州文化学園高等学校バレーボール部監督）に市長から表彰状と記念品が贈られました。



表彰式で受賞の喜びを語る井上博明さん

佐世保市市民栄誉賞

平成16年11月に創設された賞で、芸術、文化、スポーツなど各分野で、市民に夢と希望を与えるなどの功績が顕著で、郷土の誇りとして広く市民に敬愛される人や団体に贈られます。

本市初の受賞者は、城島健司さん（現メジャーリーグ・シアトルマリナーズ所属）です。

井上博明さんのプロフィール

井上博明さんは、昭和33年生まれで、同55年4月に九州文化学園高等学校のバレーボール部監督に就任しました。

お尋ね

市役所秘書課
（☎0956・24・1111）

同校バレーボール部は、平成元年8月の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）で初優勝して以降、国民体育大会（国体）や全国高等学校選抜優勝大会（春高バレー）などの全国大会で10回の優勝に輝いています。特に、平成16年には春高バレー、インターハイ、国体の三大会で優勝するという三冠を達成、また、本年度には国体の少年女子バレーボールで史上初という三連覇を成し遂げました。井上監督は、同部を全国トップレベルのチームに育て上げ、また数々の優勝は、わたしたち市民に大きな感動を与えてくれました。また、井上さんは、他校の生徒の実技指導やキッズバレー教室の講師を務めるなど、地域のバレーボール選手の育成にも努めています。

3月1日～7日は春の全国火災予防運動

3月1日から7日まで、全国一斉に火災予防運動が実施されます。春先は空気が乾燥して、火災が発生しやすくなります。わたしたち一人一人が火災の予防を心掛けて、死傷事故や財産の損失を防ぎましょう。

平成18年中の傾向

昨年中の市内の火災発生件数は百件で、一昨年の発生件数百十四件と比べて少し減っています。火災発生件数百件の内、約6割が建物火災で、その内住宅火災が約6割を占めています。昨年は、ごみや枯れ草の焼却による火災や放火・放火の疑いが特に多い年でした。

平成18年中の市内の火災発生状況

火災発生件数	100件	前年比14件減
焼損棟数	75棟	前年比7棟減
被災世帯数	62世帯	前年比5世帯増
被災人数	169人	前年比19人増
死亡者数	4人	前年比3人増
負傷者数	26人	前年比13人増

全国統一防火標語

「消さないで あなたの心の 注意の火。」

全国火災予防運動



不要になった消火器の処分

不要になった消火器は、燃やせないごみ（不燃ごみ）として出すことはできません。

最寄りの消防設備専門業者に問い合わせ、引き取ってもらってください。

※危険ですから、ご家庭で分解や解体は絶対にしないでください。

お尋ね

消防局予防課
（☎0956・23・9256）